

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽乳業株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三原市南方一丁目2番1号

(3) 業種

処理牛乳・乳飲料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度（2017年）を基準年度とし、令和元年度（2019年）から令和5年度（2023年）までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス みなし排出量										
実績に対する 自己評価										

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **製造量牛乳換算値(t)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成29年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
エネルギー 起源CO2	0.060	0.060	0.058	0.050			
非エネルギー 起源CO2		0.0	3.8	16.0	100.0	100.0	100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.060	0.060	0.058	0.050			
エネルギー消費原 単位 (原油換算 t)	0.02265	0.0275	0.02260	0.02093			
実績に対する 自己評価	ボイラ停止基準の遵守と果汁木曜日製造中止による重油使用量の削減						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	2019年度4月から取組み	製品製造時はボイラ3基の台数制御での製造作業、洗浄作業時は2基を停止し1基での稼働による重油使用量の削減
2	燃料、電気使用量の削減	2019年度5月から取組	午後追加注文の牛乳殺菌製造の中止
3	電気使用量の削減	2019年度6月より取組み	2槽式アイスビルダー（蓄冷装置）西側6台の冷凍機をインバーター制御の高効率機器に交換した。
4	電気使用量の削減	2019年度6月より取組み	事務所棟、商談室、食堂LED照明に交換

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料、電気使用量の削減	2020年4月からの取組み	果汁製造日集約（木曜日製造中止）
2	燃料使用量の削減	2020年5月からの取組み	製造2課蒸気殺菌時間（10分短縮）
3	電気使用量の削減	2020年4月からの取組み	アイスビルダー-350型の温度設定、冷凍機の段階的稼働変更による電気使用量削減
4	電気使用量の削減	2020年6月からの取組み	駐車場LED照明に交換

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。